



2022年12月期 第3四半期
決算説明資料

株式会社sMedio

(東証グロース：3913)

2022年11月14日

本資料の複写、転用はしないで下さい

- 連結業績ハイライト 4
- 連結決算概要(PL) 5
- 連結決算概要(BS) 6
- 事業ハイライト 8
- 第4四半期以降の取り組み 9
- sMedio Cloud Backup 11
- 本資料の取り扱いについて 13

2022年12月期
第3四半期
連結業績ハイライト

◆売上高は前年同期比34百万円増の594百万円

⇒当第3四半期(1-9月)では、新規の保守・サポート契約による増収が寄与。

◆営業損益は7百万円の赤字、経常利益は15百万円の黒字 (前年同期は11百万円と15百万円の黒字)

⇒前年同期の評価減の戻入41百万円がなくなった一方、円安による為替差益23百万円があり、経常利益は前年同期とほぼ同じとなった。

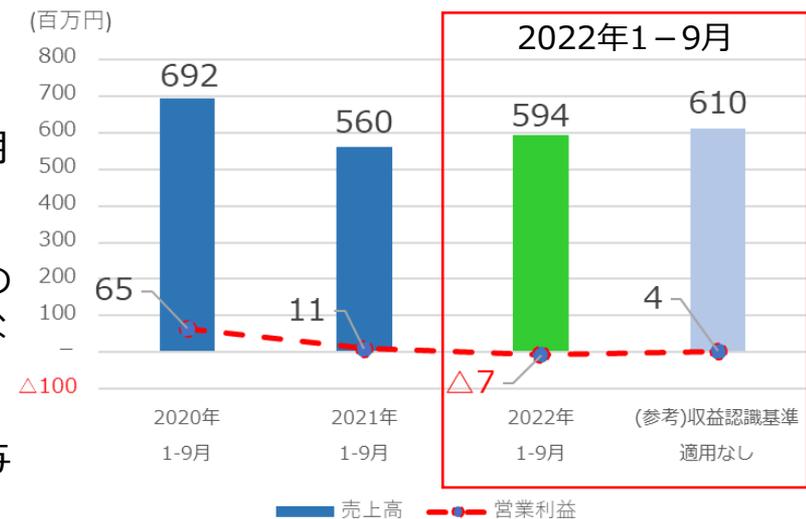
◆最終利益は、5百万円 (前年同期は6百万円の赤字)

～収益認識に関する会計基準適用による影響～

⇒ロイヤリティ収入の計上月が、従来に比べ早くなりました。
(四半期の初月に売上計上していたものが、前四半期の最終月に売上計上になる。)

この影響は、全体として、売上高等を減少させており、従来の会計方針を適用していれば、右表の(参考)収益認識基準適用なしに示したとおり、売上高は610百万円、営業利益は4百万円です。

また、売掛金等の債権債務の増加や仕掛品の減少にも影響を与えております。



連結決算概要 (PL)

単位：百万円

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	2022年 1-9月	前期比	
売上高	692	560	594	34	6.2%
売上原価	291	241	277	36	15.2%
売上原価率	42.1%	43.1%	46.7%	3.7p	
売上総利益	400	318	316	△2	△0.7%
販管費	334	307	324	17	5.7%
営業利益	65	11	△7	△19	
営業利益率	9.5%	2.1%	△1.3%	△3.4p	
営業外収益	3	3	24	21	641.0%
営業外費用	3	0	1	1	
経常利益	65	15	15	△0	△0.7%
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	1	—	—	—	
税金等調整前四半期純利益	64	15	15	△0	△0.7%
法人税等	23	21	9	△12	△57.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	40	△6	5	12	

(売上高) 新規の保守・サポート収入が寄与し、売上高は34百万円増加し、594百万円となりました。

(売上原価) 前年同期の評価減の戻入41百万円を除くと、5百万円の減少となっています。

(営業利益) のれん償却費の減少の半面、研究開発費が25百万円増加（来年度以降の採用を目指した4K/8K高解像度関連製品等）したことで、販管費全体は微増し営業損益は7百万円の赤字となりました。

(経常利益) 為替差益を23百万円計上したことで、経常利益は15百万円となりました。

連結決算概要 (BS)

単位：百万円

資産	2020年 12月末	2021年 12月末	2022年 9月末	前期末比	負債・純資産	2020年 12月末	2021年 12月末	2022年 9月末	前期末比
現金及び預金	806	570	867	296	買掛金	10	12	21	9
売掛金	73	45	174	128	未払法人税等	15	3	26	23
仕掛品	18	30	10	△20	賞与引当金	2	2	11	9
原材料及び貯蔵品	257	520	481	△39	工事損失引当金	-	1	-	△1
その他	16	21	24	3	その他	113	88	117	28
流動資産合計	1,172	1,189	1,558	368	流動負債合計	141	106	177	70
有形固定資産	18	15	14	△0	固定負債合計	8	9	11	2
ソフトウェア	9	5	4	△1	負債合計	150	116	189	72
のれん	17	1	-	△1	資本金・資本剰余金	1,164	1,165	1,347	182
その他	2	1	1	△0	利益剰余金	144	145	214	68
無形固定資産合計	28	8	5	△2	自己株式	△201	△194	△176	18
投資その他資産	40	36	29	△7	その他	3	16	33	16
固定資産合計	88	60	49	△10	純資産合計	1,111	1,133	1,419	285
資産合計	1,261	1,250	1,608	358	負債・純資産合計	1,261	1,250	1,608	358

のれんの償却は完了

7月の第三者割当増資による増加

株式報酬による処分

(資産)

売掛金は、当期首より収益認識に関する会計基準を適用したことで、ロイヤリティ収入の売上計上月が早くなったことで、従来であれば四半期末時点で入金されていた売掛金が残高として残ることになり、128百万円増加しました。売掛金が入金遅延している等が原因ではなく、現預金は、第三者割当増資による194百万円の入金も含め、296百万円増加しており、手元資金の流動性に影響はありません。

(資本)

Kiwi Technology Inc.との資本業務提携に伴い、その子会社であるキーウィテクノロジー社へ306,000株の新株（194百万円）を発行したこと、および収益認識基準適用による期首利益剰余金の調整額62百万円等により、純資産は285百万円増加し、1,419百万円となりました。

2022年12月期
第3四半期
事業ハイライト

パソコン・デジタル家電向け組込みソフトウェア事業

- 当第3四半期(1-9月)での売上高は、427百万円。
- VALutionBD(4K)は、主要顧客製品の出荷数がコロナおよび半導体不足により減少した出荷数から回復しない状況が続くが、その他のライセンス製品はおおむね計画値を上回り、ロイヤリティ収入全体では前年同期比で37百万円の増加。
- Android™ TV OS向け新機能ブラウザの開発完了。

AI映像解析・分析（建設DXサービス事業）

- 当第3四半期(1-9月)での売上高は、44百万円。
- 「切羽AI評価システムサービス」が、岩田地崎建設（株）、大成建設（株）で採用決定。
- 自社サービス採用企業数は、当期末目標10社に対して8社に到達。(2022年11月時点)
- 国土交通省の「2022年度 建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新技術導入・活用に関するプロジェクト」に西松建設（株）を代表とするコンソーシアムで選定。試行内容は「AI濁水処理自動調整システム」。当社は濁水処理状況をAIで判定するパートを担当。

セキュリティ・プライバシー事業

- 当第3四半期(1-9月)での売上高は、122百万円。
- 開発収入は概ね計画通り。
- 保守・サポート収入は計画を上回って推移。
- 高速、セキュア、簡単バックアップを実現するスマートフォンバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」を11月9日に発表。

通期業績予想について

- 直近（2022年8月12日）に公表している業績予想からの変更はありません。

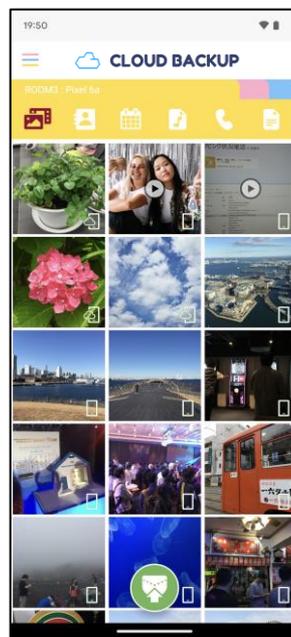
第4四半期以降の取り組み

- 11月9日に発表したスマートフォンバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」について、内定顧客向けに第4四半期での納品を目指す。収益モデルはサブスクリプション課金（定期購読型）。
- 当第3四半期に開発完了したAndroid™ TV OS向け新規機能ブラウザについて、2023年発売の4K/8K Android™ TVでの採用を目指す。
- 「切羽AI評価システムサービス」について、機能拡張版Ver2.0の年内リリースを目指す。
- Kiwi Tech製品の販売を中心としたIoTソリューション事業展開を促進する。

sMedio Cloud Backup (スマホクラウドバックアップ)

サブスクリプション販売に特化した完全クラウドサービス

- 容量無制限のクラウド型スマートフォンバックアップサービス。
- 高速、セキュア、かつ簡単なバックアップを実現。
- スマートフォン販売事業者、コンシューマ向けサービス事業者などの販売パートナーにOEM販売。



● 容量は無制限

- データ保存領域は無制限、大容量のデータ保存でも容量不足の心配なし。

● 1アカウントあたり3台までのスマートフォンを追加可能

- 買い替え時のデータ移行や、複数端末間のデータ共有にも対応。

● データセンターは国内

- クラウドサーバーは業界クラウド最大手の国内データセンターを利用。
- 高速な通信速度とセキュアなデータ保管を実現。

● 様々なデータ形式に対応

- 連絡先、カレンダー、写真、動画のほか、Android™版では音楽、文書ファイル、発着信履歴のバックアップアップに対応。

● オンラインビューアによるバックアップの直接閲覧が可能

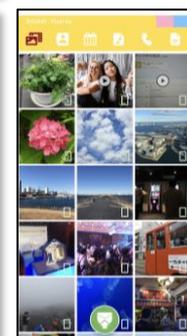
- データ復元操作なしで、他の端末のバックアップデータも簡単に閲覧、ダウンロードが可能。
- 高機能な内蔵プレーヤにより、写真、動画、音楽のオンライン再生に対応。

● バックアップボタンを押すだけの簡単操作。夜間自動バックアップにも対応

- 複雑な設定や操作を廃し、バックアップしたいデータ種別を選択するだけのシンプル操作を実現。
- Android™版では定期的な夜間自動バックアップに対応。

● わかりやすく、グラフィカルな操作画面

- サーバー内、スマートフォン内のデータを一目で確認可能なリストで表示。
- 未バックアップの新規データはアイコンで表示。



- ◆ 本資料は、2022年11月14日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- ◆ これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- ◆ 本資料中の数値は、単位未満切捨てで表示しており、その影響で表中の合計と一致していない場合があります。
- ◆ 本資料中に記載されている会社名および製品・サービス名等は、各社の登録商標または商標になります。一部、®、TMなどの記載を省略しております。
- ◆ Android は Google LLC の商標です。
- ◆ iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

